

現行計画の指標等の整理

現行計画の指標について、下記の表に示す通り整理しました。評価については、目標値のある項目(定量目標)は直近値の目標値に対する状況を達成・未達成で、目標値がない項目(点検評価指標)は基準値からの傾向を改善・維持・後退で評価しています。なお、市民の評価についてはアンケート結果より、環境像・基本目標の達成度、指標の適切性を評価しました。

(1) 【環境像1】エネルギーを有効に活用し、地球温暖化防止に取り組むまち

定量目標・点検評価指標の11項目のうち1項目が未達成、4項目が改善、4項目が後退となりました。後退となった未利用エネルギーの活用、太陽光発電設備設置件数、屋上壁面緑化助成件数について対策を検討する必要があります。

アンケートにおける市民の評価は、環境像については「満足」「やや満足」の割合が「やや不満」「不満」を上回ったものの、21%と5つの環境像の中で最も低くなりました。基本目標については1項目が「満足」「やや満足」の割合が「やや不満」「不満」を下回りました。指標の適切性については、11項目のうち8項目について、適切と考える割合が適切でないとする割合を上回りました。適切でないとする割合が大きかった3項目について、指標の内容を検討する必要があります。

環境像	基本目標	市の評価					市民の評価		
		項目	単位	基準値 (2011年度)	目標値 (目標年度)	直近値 (2019年度)	評価	達成度 ※1	指標の 適切性 ※2
環境像		1. エネルギーを有効に活用し、地球温暖化防止に取り組むまち					-	○	-
		基本目標：1-1 エネルギーを環境にやさしく利用する。					-	○	-
		温室効果ガス排出量	千t-CO2	15,772 (2013年度)	13,677 (2030年度)	15,754 (2016年度)	未達成	-	○
		公共交通機関利用者数	千人	704	-	785	維持	-	○
		CASBEE（建築環境総合性能評価システム）による省エネ建築物数	件数（累計）	28	-	299	改善	-	○
		自転車専用通行帯整備延長	km（累計）	4.1	-	39.8	改善	-	△
		公共建築物の木工事費・全工事費に占める割合	上段：千円、 下段：%	19,439 2.1	-	78,576 3.3	改善	-	△
		基本目標：1-2 再生可能エネルギー、未利用エネルギーを活用する。					-	○	-
		再生可能エネルギーの活用	kW	4219	-	20,567	改善	-	○
		未利用エネルギーの活用	kW	30490	-	17,170	後退	-	○
		太陽光発電設備設置件数（助成件数）	件	413	-	129	後退	-	○
		太陽熱利用給湯システムの利用件数（助成件数）	件	18 (2012年度)	-	0	後退	-	○
		基本目標：1-3 ヒートアイランド対策を推進する。					-	△	-
		屋上壁面緑化助成件数	件	0 (2012年度)	-	0	後退	-	○
		熱帯夜の年間発生日数	日	46	-	34	維持	-	△

※1 アンケートで「満足」「やや満足」の割合が「やや不満」「不満」を上回った場合○、下回った場合△として評価

※2 アンケートで「適切である」の割合が「適切でない」を上回った場合○、下回った場合△として評価

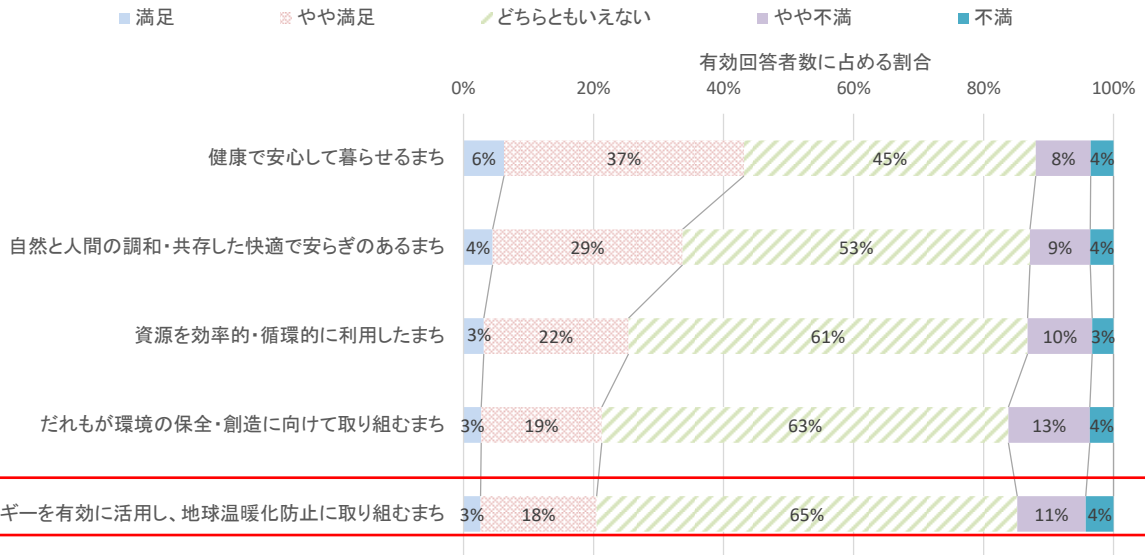


図 1-1 環境像 1 の達成度の傾向

※満足・やや満足が高い割合順に掲載

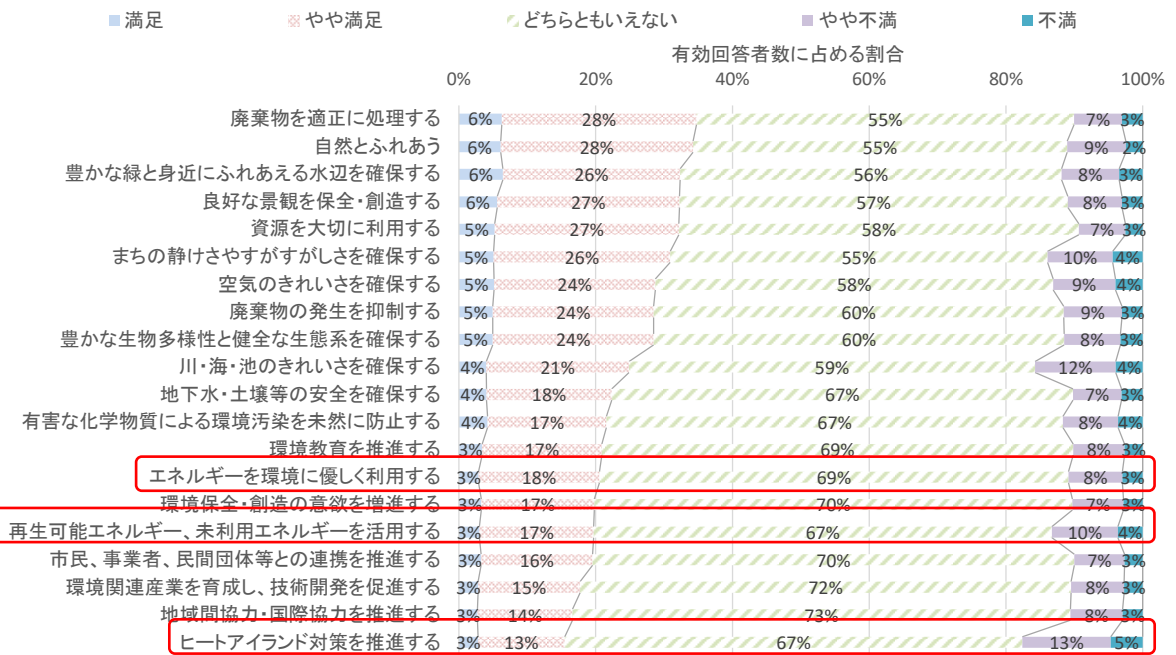


図 1-2 環境像 1 に関する基本目標の達成度の傾向

※満足・やや満足が高い割合順に掲載

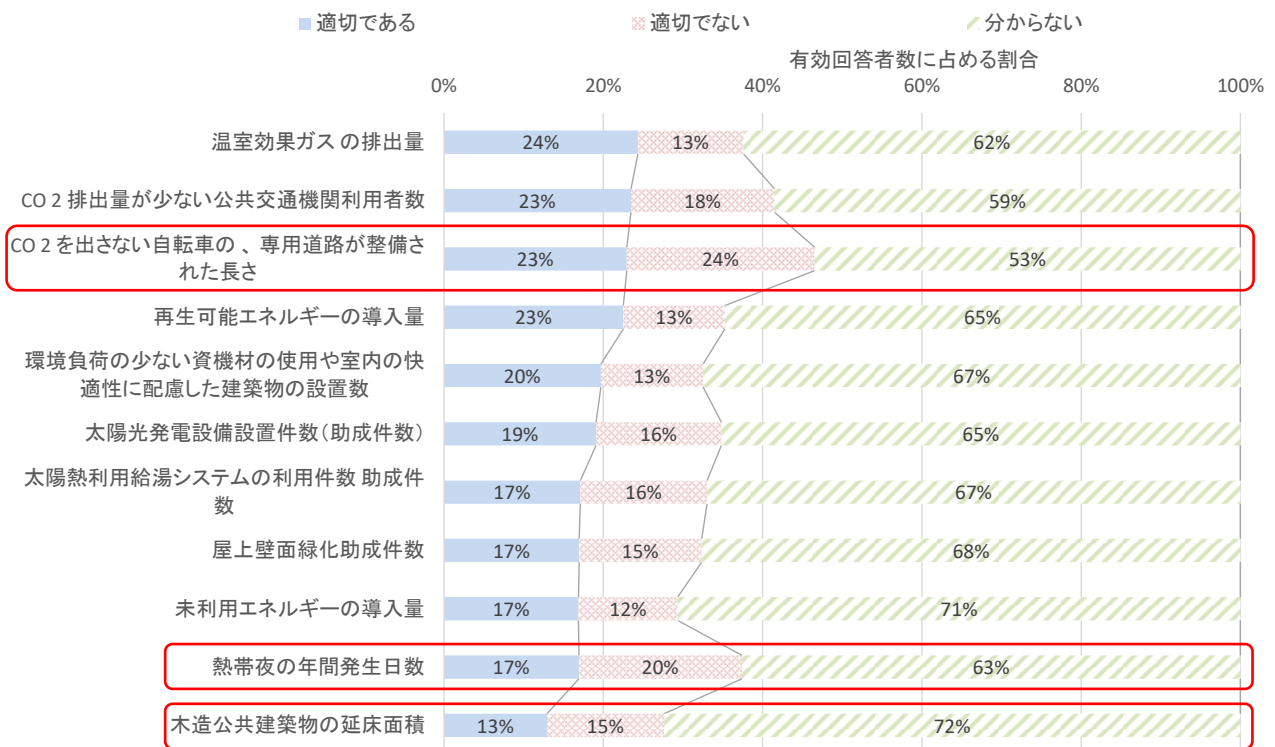


図 1-3 環境像 1 の指標の効果検証

※適切であるが高い割合順に掲載

(2) 【環境像 2】資源を効率的・循環的に利用したまち

定量目標・点検評価指標の9項目のうち1項目が達成、3項目が改善、1項目が未達成、1項目が後退となりました。産業廃棄物の最終処分量等、産業廃棄物に関する施策の推進が必要であることが見受けられます。

アンケートにおける市民の評価は、環境像及び基本目標についてはすべての項目で「満足」「やや満足」の割合が「やや不満」「不満」を上回りました。指標の適切性については、9項目全てについて適切であるの割合が適切でないの割合を上回り、現在の指標について適切であると考えている市民が多いことが伺えます。

市の評価								市民の評価		
環境像	基本目標	項目	単位	基準値 (2011年度)	目標値 (目標年度)	直近値 (2019年度)	評価	達成度 ※1	指標の 適切性 ※2	
環境像：2. 資源を効率的・循環的に利用したまち								-	○	-
基本目標：2-1 資源を大切に利用する。								-	○	-
		一般廃棄物再生利用率	%	32	35 (2021年度)	31.6	未達成	-	○	
		産業廃棄物再生利用率	%	53.9	-	50.1 (2018年度)	維持	-	○	
基本目標：2-2 廃棄物の発生を抑制する。								-	○	-
		一般廃棄物焼却処理量	千 t	265	-	243	維持	-	○	
		一般廃棄物総排出量	上段：千 t、 下段：g	384	368 (2021年度)	345	達成	-	○	
		産業廃棄物排出量	千 t	3854	-	4065 (2018年度)	維持	-	○	
基本目標：2-3 廃棄物を適正に処理する。								-	○	-
		一般廃棄物最終処分量	千 t	29.6	-	18.4	改善	-	○	
		産業廃棄物最終処分量	千 t	33	-	53 (2018年度)	後退	-	○	
		一般廃棄物不法投棄件数	件	1993	-	1,970	改善	-	○	
		産業廃棄物不法投棄件数	件	8	-	3	改善	-	○	

※1 アンケートで「満足」「やや満足」の割合が「やや不満」「不満」を上回った場合○、下回った場合△として評価

※2 アンケートで「適切である」の割合が「適切でない」を上回った場合○、下回った場合△として評価

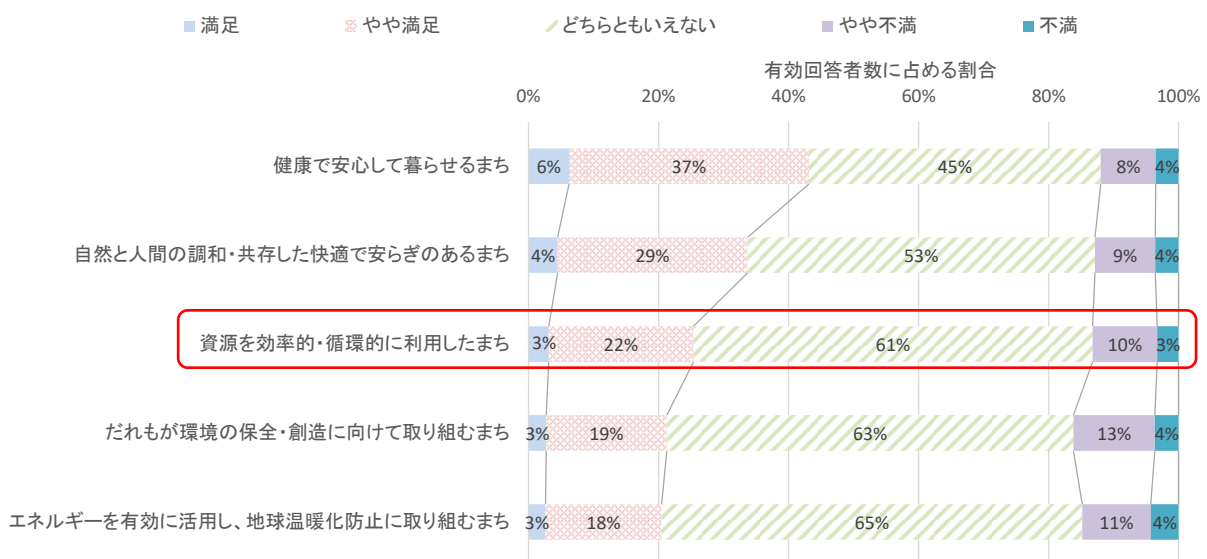


図 2-1 環境像 2 の達成度の傾向

※満足・やや満足が高い割合順に掲載

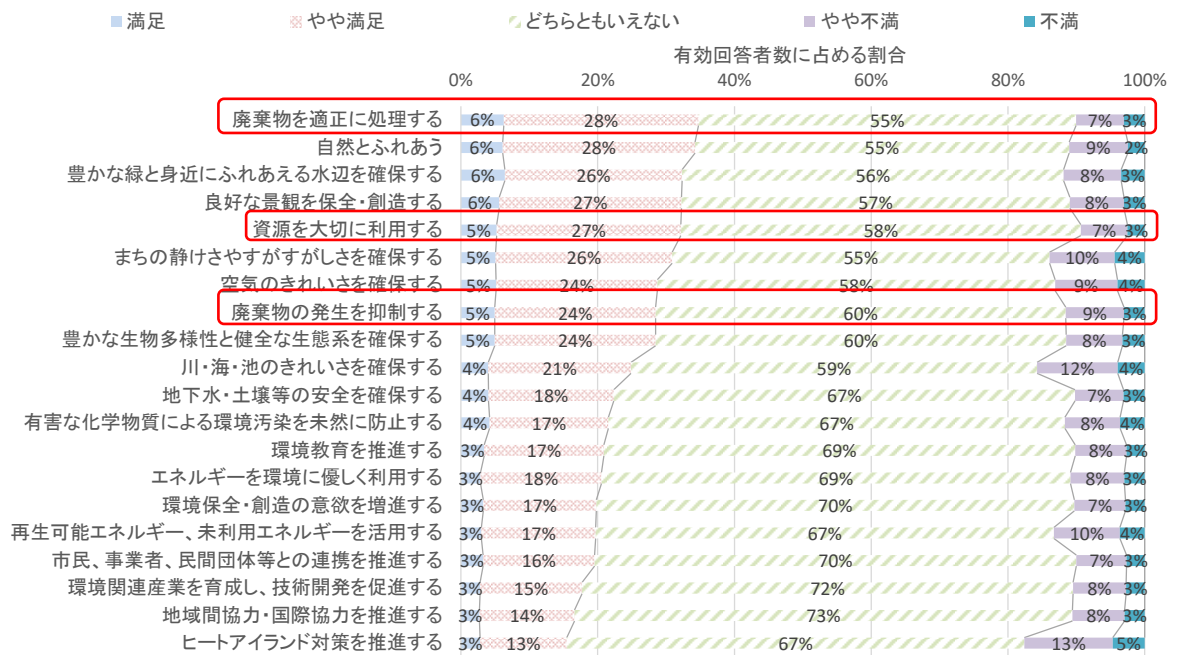


図 2-2 環境像 2 に関する基本目標の達成度の傾向

※満足・やや満足が高い割合順に掲載

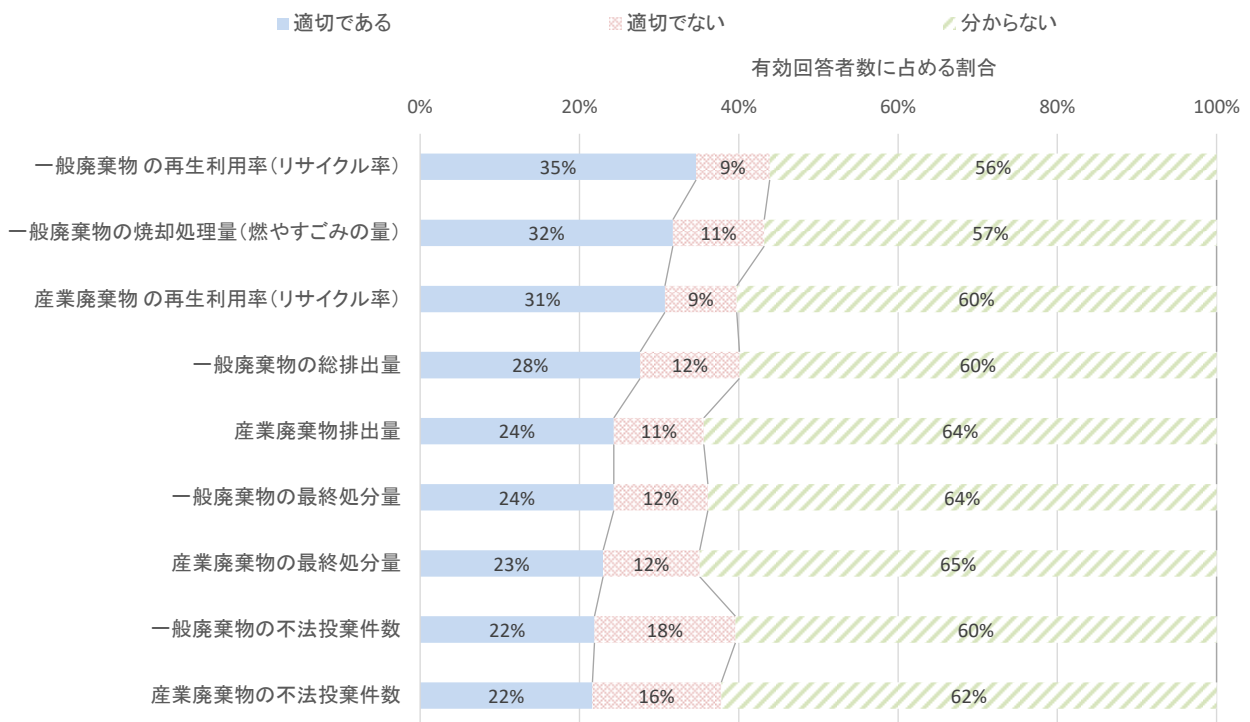


図 2-1 環境像 2 の指標の効果検証

※適切であるが高い割合順に掲載

(3) 【環境像3】自然と人間の調和・共存した快適で安らぎのあるまち

定量目標・点検評価指標の13項目のうち1項目が改善、3項目で未達成、1項目で後退となっています。生態系の確保に関して施策を検討していく必要があります。また、自然との触れ合いについては、自然観察会等参加者数・開催数が後退しており、市民の取り組みを一層推進することが必要です。

アンケートにおける市民の評価は、環境像及び基本目標についてはすべての項目で「満足」「やや満足」の割合が「やや不満」「不満」を上回りました。また、環境像については33%と5つの環境像の中で2番目に高くなりました。指標の適切性については、13項目全てについて適切であるの割合が適切でないの割合を上回り、現在の指標について適切であると考えている市民が多いことが伺えます。

市の評価							市民の評価		
環境像	基本目標	項目	単位	基準値 (2011年度)	目標値 (目標年度)	直近値 (2019年度)	評価	達成度 ※1	指標の 適切性 ※2
環境像：3. 自然と人間の調和・共存した快適で安らぎのあるまち							-	○	-
基本目標：3-1 豊かな生物多様性と健全な生態系を確保する。							-	○	-
		森林面積	ha	4482	4,381 (2021年度)	4190 (2018年度)	未達成	-	○
		貴重な生物の生息量	上段：匹、 中段：個、 下段：頭	ホタル 952 カエル卵塊 99 特定外来生物 2	-	ホタル 919 カエル卵塊 723 特定外来生物 38	維持	-	○
		里山地区の数	か所	3	6 (2021年度)	4	未達成	-	○
		谷津田の保全面積	ha	40.36	69.81 (2021年度)	61.54	未達成	-	○
		多自然護岸整備河川等の延長	m (累計)	9347	-	13,644	改善	-	○
基本目標：3-2 豊かな緑と身近にふれあえる水辺を確保する。							-	○	-
		市民緑地の数・面積	上段：か所、 下段：ha	16 19.4	-	18 19.9	維持	-	○
		親しみのある水辺に整備した護岸の延長	m (累計)	18940	-	23,237	維持	-	○
基本目標：3-3 良好な景観を保全・創造する。							-	○	-
		特別緑地保全地区の数・面積	上段：か所、 下段：ha	11 51.3	-	13 61.1	維持	-	○
基本目標：3-4 自然とふれあう。							-	○	-
		市民農園箇所数・利用者数	上段：か所、 下段：人	30 1,555	-	36 1,372	維持	-	○
		市民緑地の維持管理団体数	団体 (累計)	17	-	20	維持	-	○
		自然観察会等参加者数・開催数	上段：人、 下段：回	507 28	-	626 20	後退	-	○
		親水性施設整備箇所数	か所数 (累計)	10	-	12	維持	-	○
		大規模な公園の利用者数	千人	2913	-	3,006	維持	-	○

※1 アンケートで「満足」「やや満足」の割合が「やや不満」「不満」を上回った場合○、下回った場合△として評価

※2 アンケートで「適切である」の割合が「適切でない」を上回った場合○、下回った場合△として評価

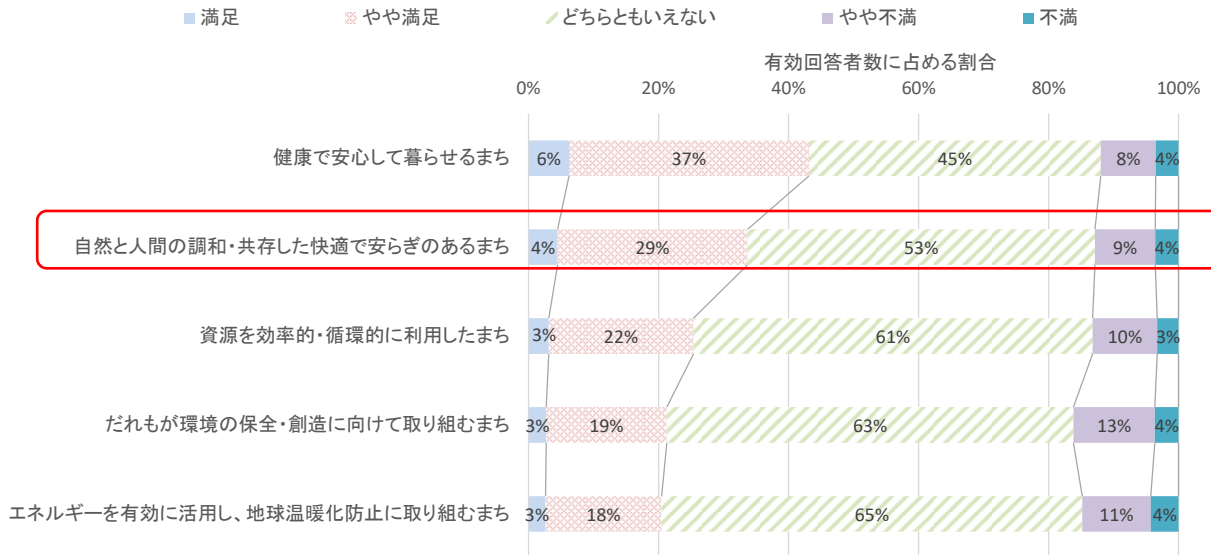


図 3-1 環境像 3 の達成度の傾向

※満足・やや満足が高い割合順に掲載

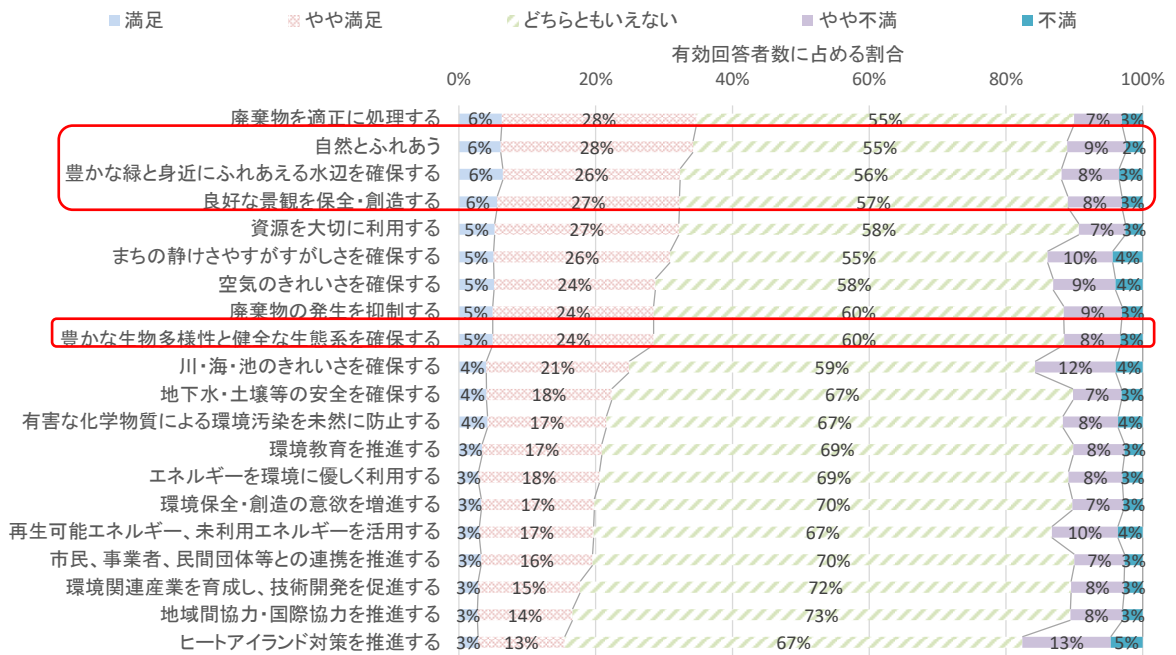


図 3-2 環境像 3 に関する基本目標の達成度の傾向

※満足・やや満足が高い割合順に掲載

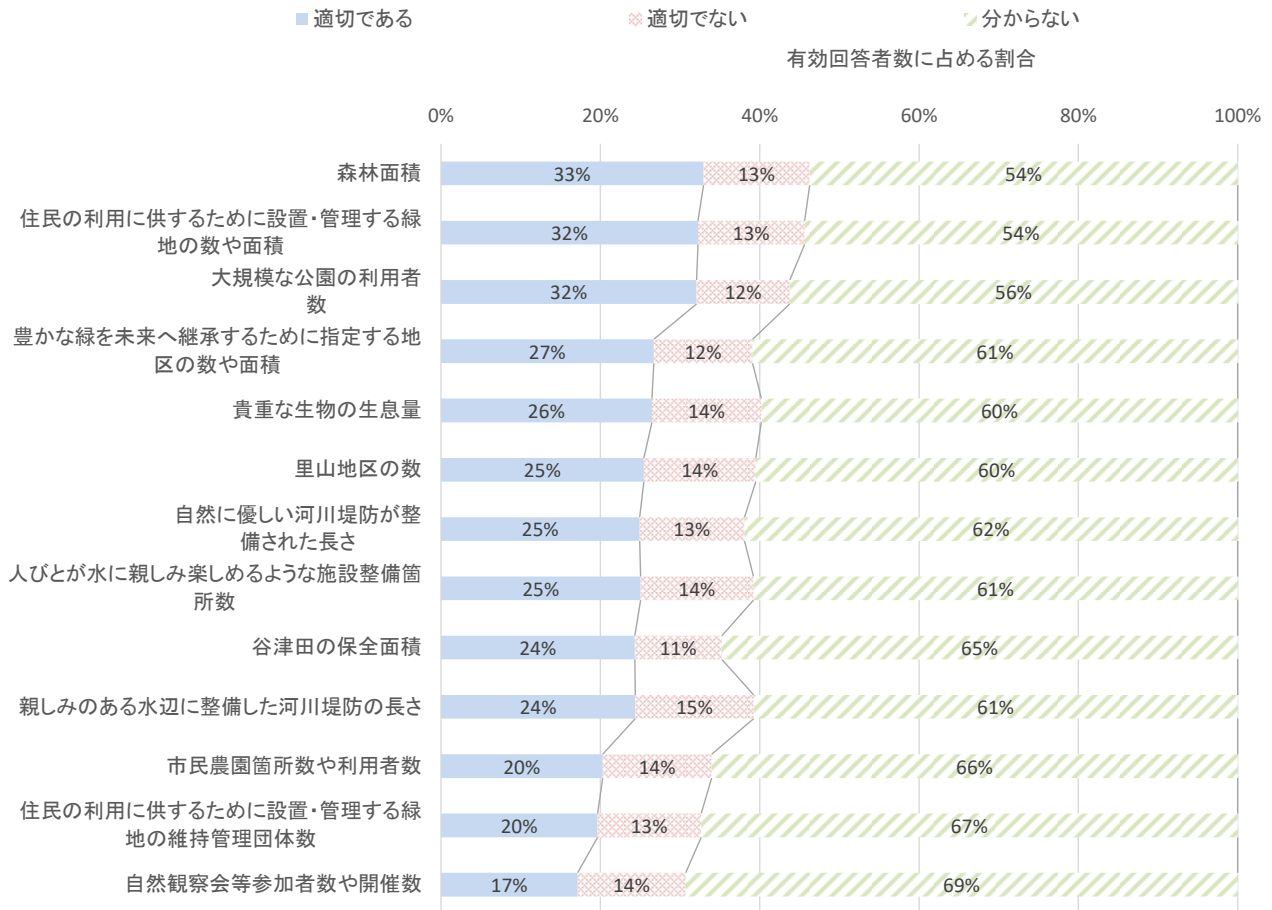


図 3-2 環境像3の指標の効果検証

※適切であるが高い割合順に掲載

(4) 【環境像 4】健康で安心して暮らせるまち

定量目標・点検評価指標の52項目のうち34項目が達成、3項目が改善、11項目で未達成があったが、後退した項目は1項目だったことから、市民の生活環境が良好であることが伺えます。未達成である光化学オキシダント、海域の化学的酸素要求量(COD)、全窒素(T-N)、全りん(T-P)、土壤汚染の環境目標値を達成するための施策を検討するとともに、今後もこれらの環境が維持されるよう、取組を推進する必要があります。

アンケートにおける市民の評価は、環境像及び基本目標についてはすべての項目で「満足」「やや満足」の割合が「やや不満」「不満」を上回りました。また、環境像については43%と5つの環境像の中で最も高くなりました。指標の適切性については、52項目全てについて適切であるの割合が適切でないの割合を上回り、現在の指標について適切であると考えている市民が多いことが伺えます。

環境像	基本目標	項目	市の評価				市民の評価		
			単位	基準値 (2011年度)	目標値 (目標年度)	直近値 (2019年度)	評価	達成度 ※1	指標の 適切性 ※2
環境像：4.健康で安心して暮らせるまち							-	○	-
基本目標：4-1 空気のきれいさを確保する。							-	○	-
		一般：二酸化窒素 (NO ₂)	達成率%	95 (19/20)	100	100 (13/13)	達成	-	○
		一般：二酸化硫黄 (SO ₂)	達成率%	100 (20/20)	100	100 (9/9)	達成	-	○
		一般：浮遊粒子状物質 (SPM)	達成率%	100 (20/20)	100	100 (13/13)	達成	-	○
		一般：光化学オキシダント (OX)	達成率%	0 (0/11)	100	0 (0/11)	未達成	-	○
		一般：微小粒子状物質 (PM _{2.5})	達成率%	0 (0/2)	100	100 (7/7)	達成	-	○
		自排：二酸化窒素 (NO ₂)	達成率%	14 (1/7)	100	100 (5/5)	達成	-	○
		自排：一酸化炭素 (CO)	達成率%	100 (7/7)	100	100 (3/3)	達成	-	○
		自排：浮遊粒子状物質 (SPM)	達成率%	100 (7/7)	100	100 (5/5)	達成	-	○
		自排：微小粒子状物質 (PM _{2.5})	達成率%	0 (0/1)	100	100 (2/2)	達成	-	○
		降下ばいじん	達成率%	100 (9/9)	100	100 (12/12)	達成	-	○
		低公害車の保有台数・保有率(公用車)	上段：台、 下段：%	442 46.9	-	658 73	改善	-	○
		低公害車普及率(市域)	%	65.6	-	84.4	改善	-	○
基本目標：4-2 川・海・池のきれいさを確保する。							-	○	-
		河川：生物化学的酸素要求量 (BOD)	達成率%	94 (17/18)	100	100 (18/18)	達成	-	○
		河川：溶存酸素濃度 (DO)	達成率%	100 (18/18)	100	100 (18/18)	達成	-	○
		河川：大腸菌群数	達成率%	0 (0/3)	100	0 (0/3)	未達成	-	○
		河川・海域：健康項目	達成率%	100 (20/20)	100	100 (20/20)	達成	-	○
		海域：化学的酸素要求量 (COD)	達成率%	0 (0/2)	100	0 (0/2)	未達成	-	○
		海域：溶存酸素濃度 (DO)	達成率%	100 (2/2)	100	100 (2/2)	達成	-	○
		海域：大腸菌群数	達成率%	100 (1/1)	100	100 (1/1)	達成	-	○
		海域：全窒素 (T-N)	達成率%	50 (1/2)	100	50 (1/2)	未達成	-	○
		海域：全りん (T-P)	達成率%	0 (0/2)	100	50 (1/2)	未達成	-	○
		海域：全亜鉛 (T-Zn)	達成率%	100 (2/2)	100	100 (2/2)	達成	-	○
		污水処理人口普及率	%	98	-	99	維持	-	○
		都川、鹿島川の平常時流量 (千葉市水環境保全計画に定める 目標値達成率)	達成率%	0 (0/6)	-	20 (1/5)	改善	-	○
		市民1人あたりの水道使用量	m ³	96.8	-	94.2	維持	-	○
基本目標：4-3 まちの静けさやすがすがしさを確保する。							-	○	-
		騒音地域類型ごとの環境目標値の達成	達成率%	82 (74/90)	100	90 (65/72)	未達成	-	○

環境像	基本目標	市の評価					市民の評価		
		項目	単位	基準値 (2011年度)	目標値 (目標年度)	直近値 (2019年度)	評価	達成度 ※1	指標の 適切性 ※2
環境像		4. 健康で安心して暮らせるまち					-	○	-
		基本目標：4-4 有害な化学物質による環境汚染を未然に防止する。					-	○	-
		有害物質：ベンゼン	達成率%	100 (6/6)	100	100 (6/6)	達成	-	○
		有害物質：トリクロロエチレン	達成率%	100 (6/6)	100	100 (6/6)	達成	-	○
		有害物質：テトラクロロエチレン	達成率%	100 (6/6)	100	100 (6/6)	達成	-	○
		有害物質：ジクロロメタン	達成率%	100 (6/6)	100	100 (6/6)	達成	-	○
		有害物質：アクリロニトリル	達成率%	100 (6/6)	100	100 (6/6)	達成	-	○
		有害物質：塩化ビニルモノマー	達成率%	100 (6/6)	100	100 (6/6)	達成	-	○
		有害物質：水銀及びその化合物	達成率%	100 (2/2)	100	100 (6/6)	達成	-	○
		有害物質：ニッケル化合物	達成率%	100 (4/4)	100	100 (4/4)	達成	-	○
		有害物質：クロロホルム	達成率%	100 (6/6)	100	100 (6/6)	達成	-	○
		有害物質：1,2-ジクロロエタン	達成率%	100 (6/6)	100	100 (6/6)	達成	-	○
		有害物質：1,3-ブタジエン	達成率%	100 (6/6)	100	100 (6/6)	達成	-	○
		有害物質：ひ素及び無機ひ素化合物	達成率%	100 (4/4)	100	100 (4/4)	達成	-	○
		有害物質：マンガン及び無機マンガ ン化合物	達成率%	100 (4/4)	100	100 (4/4)	達成	-	○
		ダイオキシン類（大気）	達成率%	100 (10/10)	100	100 (6/6)	達成	-	○
		ダイオキシン類（水質）	達成率%	100 (9/9)	100	100 (5/5)	達成	-	○
		ダイオキシン類（底質）	達成率%	100 (7/7)	100	100 (5/5)	達成	-	○
		ダイオキシン類（地下水）	達成率%	100 (3/3)	100	100 (2/2)	達成	-	○
		ダイオキシン類（土壌）	達成率%	100 (3/3)	100	100 (2/2)	達成	-	○
		PTR法による化学物質 届出排出・移動量	t	1706	-	3535 (2018年度)	後退	-	○
		基本目標：4-5 地下水・土壌等の安全を確保する。					-	○	-
		地下水：揮発性有機化合物（VOC）	達成率%	100 (85/85)	100	99 (85/86)	未達成	-	○
		地下水：六価クロム（Cr6+）	達成率%	100 (85/85)	100	100 (86/86)	達成	-	○
		地下水：ひ素（As）	達成率%	98 (83/85)	100	99 (85/86)	未達成	-	○
		地下水：硝酸性窒素（NO3） 地下水：亜硝酸性窒素（NO2）	達成率%	89 (76/85)	100	85 (73/86)	未達成	-	○
		地下水：その他	達成率%	100 (85/85)	100	99 (85/86)	未達成	-	○
		土壌汚染の環境目標値の達成 （累計）	達成率%	97 (99/102)	100	95 (521/550)	未達成	-	○
		単年度沈下量2cm以上の地点数	件	164	-	0	維持	-	○

※1 アンケートで「満足」「やや満足」の割合が「やや不満」「不満」を上回った場合○、下回った場合△として評価

※2 アンケートで「適切である」の割合が「適切でない」を上回った場合○、下回った場合△として評価

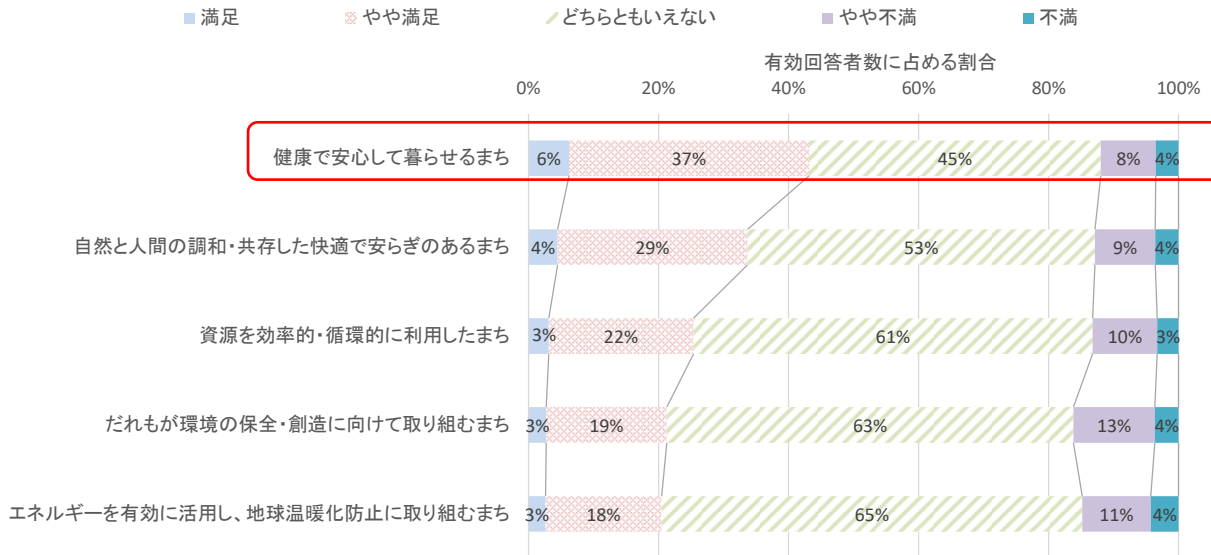


図 4-1 環境像 4 の達成度の傾向

※満足・やや満足が高い割合順に掲載

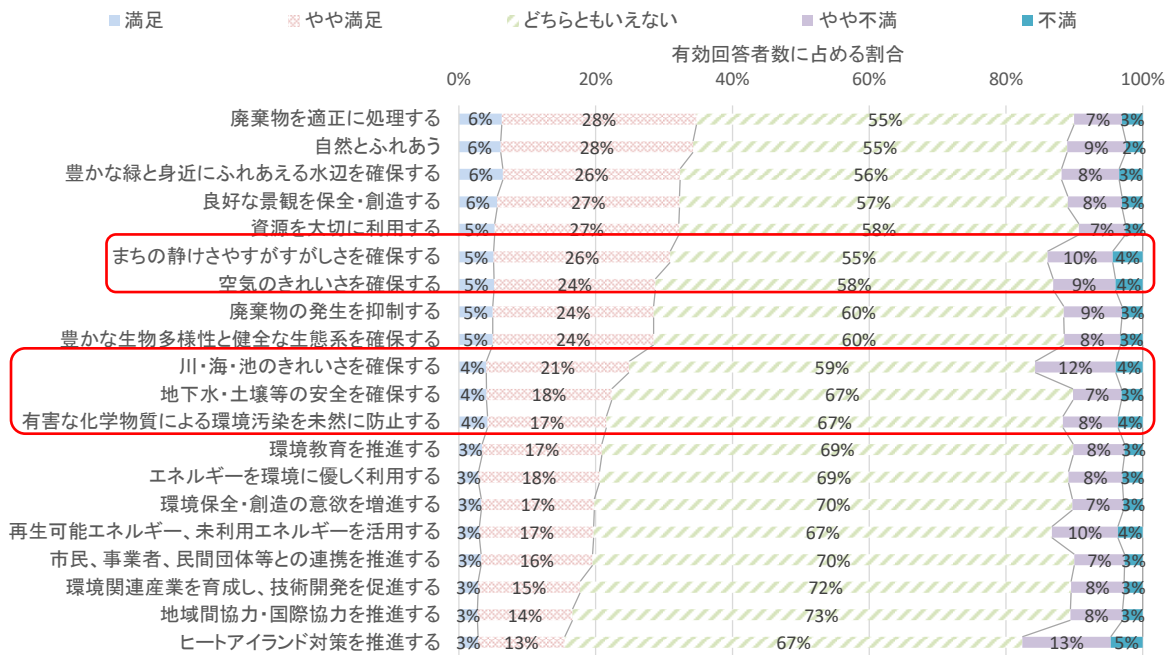


図 4-2 環境像 4 に関する基本目標の達成度の傾向

※満足・やや満足が高い割合順に掲載

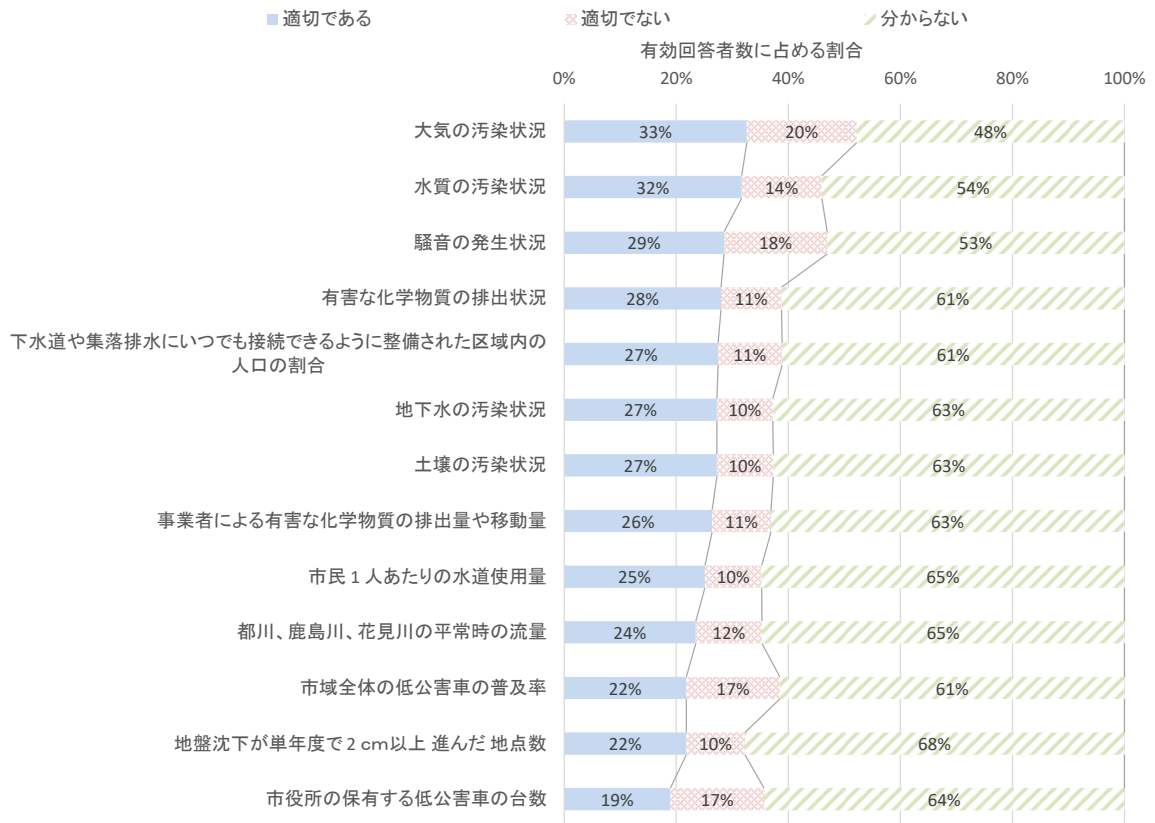


図 4-3 環境像 4 の指標の効果検証

※適切であるが高い割合順に掲載

(5) 【環境像5】だれもが環境の保全・創造に向けて取り組むまち

定量目標・点検評価指標の13項目(環境白書で把握している指標数)のうち8項目が維持となりましたが、5項目が後退しています。市民の環境に対する興味や意識の向上を図り、取り組みを促進するための施策を検討していく必要があります。

アンケートにおける市民の評価は、環境像及び基本目標についてはすべての項目で「満足」「やや満足」の割合が「やや不満」「不満」を上回りました。指標の適切性については、13項目全てについて適切であるの割合が適切でないの割合を上回り、現在の指標について適切であると考えている市民が多いことが伺えます。

市の評価							市民の評価		
環境像	基本目標	項目	単位	基準値 (2011年度)	目標値 (目標年度)	直近値 (2019年度)	評価	達成度 ※1	指標の 適切性 ※2
環境像：5.だれもが環境の保全・創造に向けて取り組むまち							-	○	-
基本目標：5-1環境保全・創造の意欲を増進する。							-	○	-
		環境関連施設利用者数	人	10364	-	8647	維持	-	○
		環境マネジメントシステム 認証取得事業所件数	件	132	-	203	維持	-	○
		環境保全活動団体数	団体	76	-	79	維持	-	○
		地球環境保全協定の締結数	件	883	-	859	維持	-	○
		市民の環境配慮行動実践状況	%	76.2	-	75.6	維持	-	○
		事業者の環境配慮行動実践状況	%	76	-	73.1	維持	-	○
基本目標：5-2環境教育を推進する。							-	○	-
		環境学習モデル校参加児童・生徒数	人	4,456	-	4,139	後退	-	○
		環境学習参加者数	人	133	-	78	後退	-	○
		子どもエコクラブ登録団体・会員数	団体、人	7 153	-	-	-	-	-
基本目標：5-3市民、事業者、民間団体等との連携を推進する。							-	○	-
		市民、事業者等と連携した事業数	件	27	-	29	維持	-	○
		人材育成数	人	1,732	-	1,208	後退	-	-
基本目標：5-4環境関連産業を育成し、技術開発を促進する。							-	○	-
		環境関連産業の育成数 起業数	件	0	-	-	-	-	-
		環境分野に関する相談件数	件	-	-	3	後退	-	○
基本目標：5-5地域間協力・国際協力を推進する。							-	○	-
		地域間協力した取組み数	件	6	-	5	後退	-	○
		海外研修員等環境関連交流人数	人	13	-	15	維持	-	○

※1 アンケートで「満足」「やや満足」の割合が「やや不満」「不満」を上回った場合○、下回った場合△として評価

※2 アンケートで「適切である」の割合が「適切でない」を上回った場合○、下回った場合△として評価

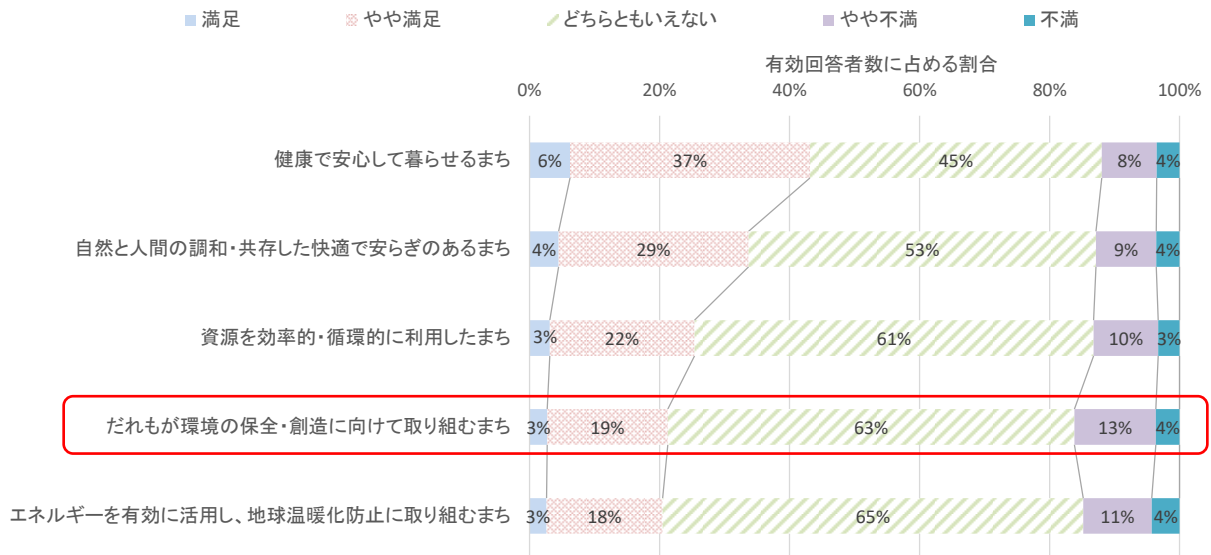


図 5-1 環境像 5 の達成度の傾向

※満足・やや満足が高い割合順に掲載

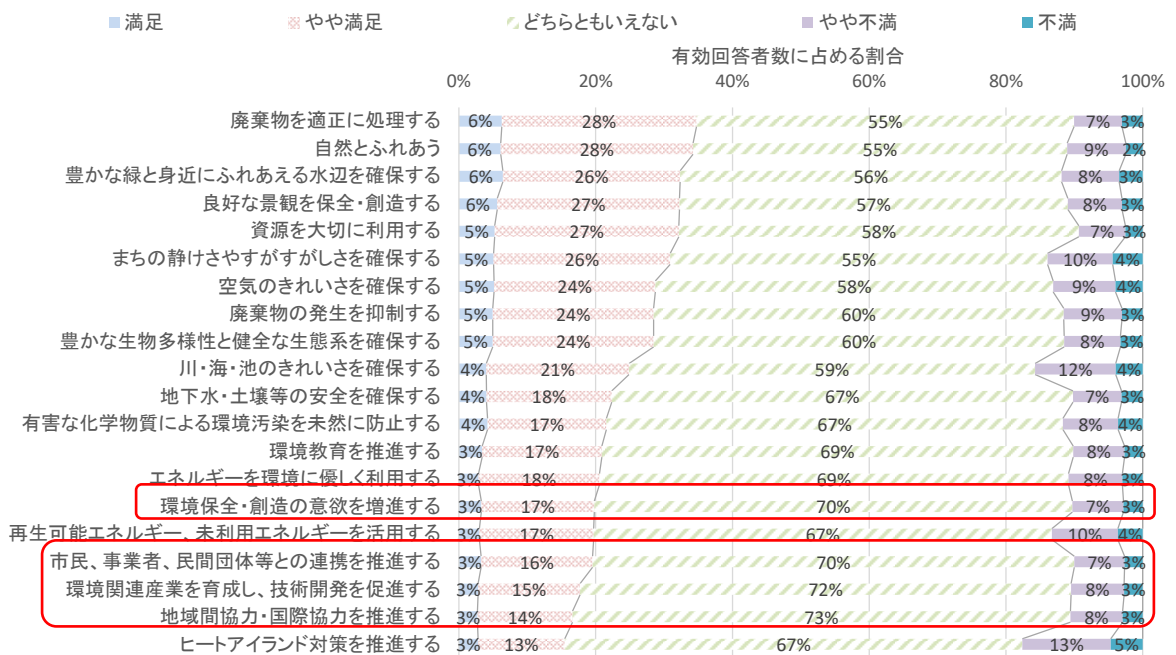


図 5-2 環境像 5 に関する基本目標の達成度の傾向

※満足・やや満足が高い割合順に掲載

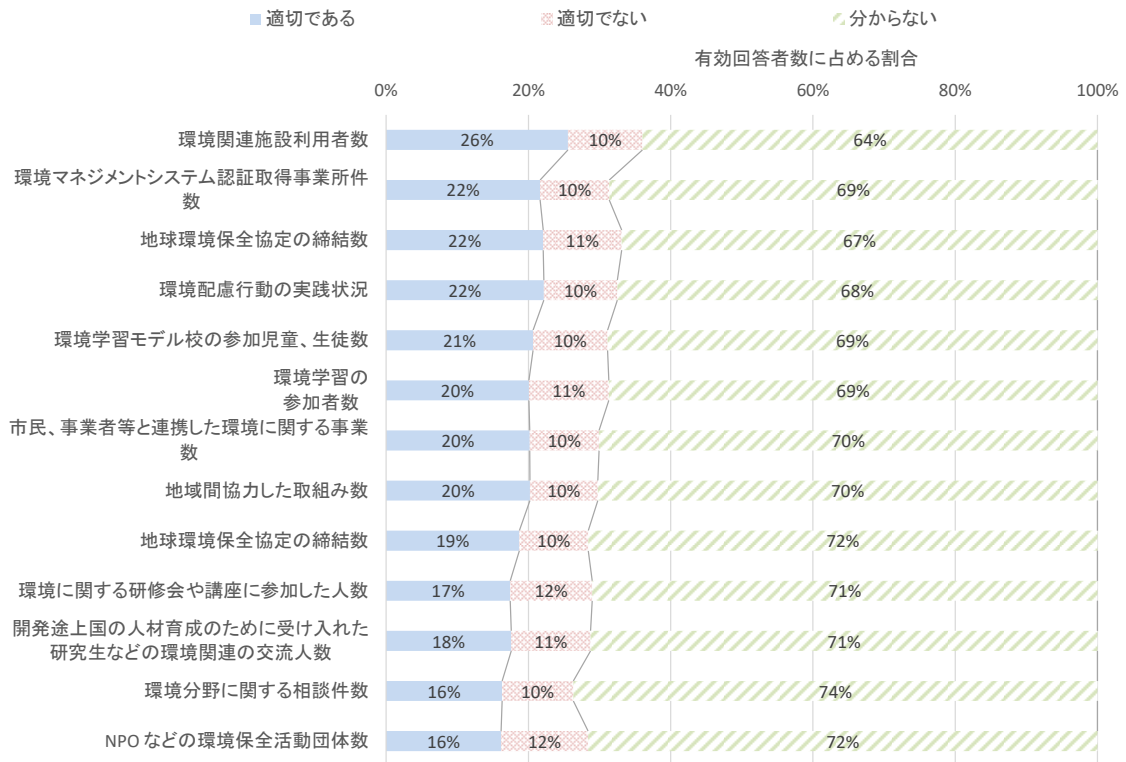


図 5-3 環境像 5 の指標の効果検証

※適切であるが高い割合順に掲載